常願寺川わくわくおさんぽマップ

こんどの休みは常願寺川へ石ころ拾いに行ってみよう

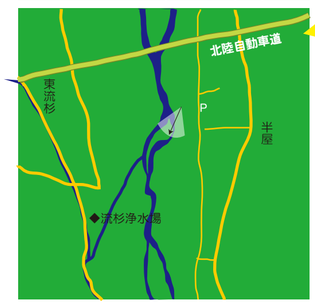
富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

たとえば、こんな所で拾えます。

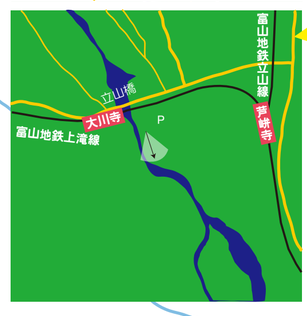
1

2

3



4



5

大地を削る称名川。
谷底を歩いて日本一の落差
をもつ称名滝へ。

溶結凝灰岩がごろごろ！

こっそり大切な働きをしています　横江堰堤（よこええんてい）

横江堰堤で取水された常願寺川の水は、下流部の農地用水としてここで5:5にわけられ、富山市側（常西合口用水）と立山町側（常東合口用水）へと効率良く送られます。また、砂防ダムとしての役割も果たしています。

忘れてはいけない　暴れん坊将軍「常願寺川」のこわ～い姿

普段はあまり水量が多くない常願寺川ですが、増水時には大量の石や土などを上流から運び、茶褐色の濁流となります。かつては暴れ川として度々氾濫し、田畑や家畜を流し、下流の人々を苦しめてきました。1858年の安政の大洪水の際に運ばれた大きな石が、現在も中流域内のいたるところに残っています。

立山カルデラにねむる大量の土石

立山カルデラの岩石は非常にもろく、崩れやすいため、これまでにも何度も大規模な崩壊を起こし、カルデラ内に大量の土砂をためてきました。大雨の時には、その土砂が一部流れだし、下流に住む人々に大きな被害をもたらします。現在もカルデラ内には約2億m^3の土砂がたまっていると言われ、これが全て富山平野に流れ出すと、厚さ2mの土砂におおわれてしまうと考えられています。

©富山市科学博物館、富山市科学博物館ボランティア 岩石グループ「ごろごろ」